

さいがい いのち  
災害から生命を守る学びテスト

# JBK ジュニア防災検定<sup>®</sup>

## 第3回

しよ きゅう  
初級

(40分)

## 問題用紙

---

「ジュニア防災検定<sup>®</sup>」に取り組むことを通して、みなさんが、次の①～③のようになることを目指しています。

- ① 日ごろから災害に備えた準備ができる。
- ② 災害時に生命を守るための行動ができる。
- ③ 未来を創るひとりとして防災・減災のために何ができるのかを考えることができる。

- 問題用紙は全部で11ページあります。
  - 名前を答案用紙の決められた欄に書きましょう。
  - 問題の答えは、答案用紙に書きましょう。
  - 質問があるとき、トイレに行きたくなったとき、気持ちが悪くなったときなどは、手をあげて知らせましょう。
-



◆ まもるくんの小学校では、1年に何回か、避難訓練ひなんくんれんがおこなわれます。今日は、大きな地震じしんが起こったという想定で訓練くんれんがおこなわれました。

I 地震じしんが起こったことをみんなに知らせるサイレンとともに、校長先生の声で放送が入りました。算数の授業中じゆぎょうだったまもるくんのクラスくんれんのみんなは、すぐに机つくえの下にもぐり、机つくえのあしをしっかりと手でつかみました。

問題1 地震じしんのゆれを感じたら、机つくえの下にもぐって机つくえのあしをつかむのはなぜですか。その理由としてふさわしいものを次のア～ウから1つ選えらび、記号で答えましょう。

ア 落ちてくるものがこわれないようにするとともに、机つくえがこわれないようにするため。



イ 落ちてくるものから頭や体を守り、机つくえがたおれて床がきずつかないようになるため。

ウ 落ちてくるものから頭や体を守り、机つくえがたおれたり移動いどうしたりしないようになるため。

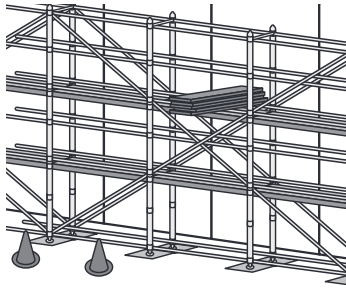
問題2 教室にいるときは、机つくえの下にもぐり、身を守ることができます。しかし、教室以外いがいの場所にいたらどうすればよいのでしょうか。先生は下の図のように、ものが「落ちてこない・たおれてこない・移動いどうしてこない」場所をさがして避難ひなんすることが、命を守ることに繋がっていると言っていました。

避難行動ひなんのキーワード

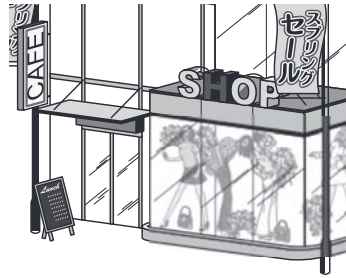


外にいるときに、大きな地震<sup>じしん</sup>がやってきたとします。あなたは自分の命を守るためにどのようなことに気をつけて行動しますか。次の1～3の場所から1つ選<sup>えら</sup>んで、あなたが気をつけようと思ったことと、その理由<sup>せつ</sup>を説明<sup>めい</sup>しましょう。

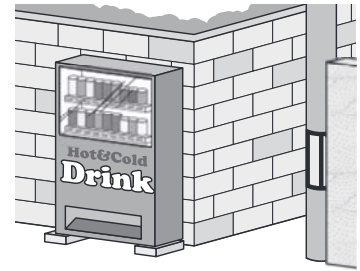
1  
工事現場<sup>げんば</sup>の近く



2  
大きなショーウインドウのある店の前



3  
ブロックべいやジュースの自動販売機<sup>じどうはんばいき</sup>のある路地



問題3 <sup>いぜん</sup>以前は、ゆれがおさまったら校舎<sup>こうしゃ</sup>から出て校庭<sup>ひなん</sup>に避難するのがよいという考え方がありました。しかし、2011年3月11日の東日本大震災<sup>しんさい</sup>では、学校<sup>つなみ</sup>が津波におそれ、児童・生徒<sup>じどう せいと</sup>が被害<sup>ひがい</sup>にあった事例<sup>じれい</sup>もあり、学校の建つ場所によっては、必ずしも校庭が安全であるとは言えません。海の近くに建つ学校で津波の被害<sup>つなみ ひがい</sup>にあうおそれがある場合、とるべき行動としてふさわしいものを次のア～エから1つ選<sup>えら</sup>び、記号で答えましょう。

ア 大きな声で避難<sup>ひなん</sup>をよびかけながら、より早くより高いところに率先<sup>そっせん</sup>して避難する。

イ 津波<sup>つなみ</sup>がくるのは1度かぎりなので、津波が来た後、避難場所からすぐに学校や家にもどる。

ウ 津波<sup>つなみ</sup>がくるまでは少し時間があるので、ランドセルなど必要<sup>ひつよう</sup>な物を持って避難し、忘れ物<sup>ひなん わす</sup>をしたら取りにもどる。

エ 家族がむかえにくるまで校庭で待つ。

II 今日きょうは、近くちかくの消防署しょうぼうしょの人がやってきて、防災ぼうさいについてのお話をしてくれました。お話には、今日きょう訓練くんれんした地震じしんのことはもちろん、そのほかの自然災害しぜんさいがいや消防署しょうぼうしょの仕事しごとについての内容ないようもありました。



## しょうぼうしょ 消防署の人の話

消防署しょうぼうしょの主な仕事しごとは、火災かさいの起きた現場げんばに消防車しょうぼうしゃでかけつけて火を消したり、にげおくれた人を助けたりすることです。また、火災かさいにかぎらず、病人びょうじんが出たとき、①地震じしんや風水害ふうすいがい、火山ふんかの噴火ふんかなどによる自然災害しぜんさいがいが起きてけが人が出たとき、海や川でおぼれた人が出たときなどにも救急車きゅうきゅうしゃですぐに助けに行けるように訓練くんれんをしています。そのほかにも、建物たてものが安全あんぜんにつくられるように指導しどうしたり、できあがったときの検査けんさをしたりします。学校やデパートなどの火を消したり避難ひなんをしたりするための設備せつびや器具きぐが、いざというときに使える状態じょうたいになっているかの検査けんさもします。

小学生しょうがくせいのみなさんには、災害さいがいが起こったらまず自分の命いのちを守るために何ができるのかという準備じゅんびを、日ごろからしてほしいのです。今日の訓練くんれんは地震じしんでしたね。③たとえば火災かさいが起こったとしたらどのように避難ひなんするのかも、すぐに頭に思い浮かぶようにしておきましょう。何か起こったときに④どこに電話でんわをして何を伝えるのかを考えておくことも大切なことですね。

問題4 下線部①について、

- (1) 日本は地震や風水害、火山の噴火などによる自然災害が多い国です。次の文章は2014年に起こった日本の自然災害についてまとめたものです。( 1 )～( 3 )にあてはめることばとしてふさわしいものを、あとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えましょう。

2014年2月には、( 1 )によって、山梨県などで集落が孤立して家から外に行けない人が出たり、首都圏でも鉄道やバスがとまって交通がまひしたりしました。

8月には、広島県で( 2 )が発生し、山のふもとの住宅地でなくなった人とけがをした人が、合わせて100人をこえる大きな災害となりました。また、つぶれたり、こわれたりした家は合わせて400軒以上にもなりました。

9月には、長野県と岐阜県の境の山岳地帯で( 3 )が起こり、登山をしていた多くの人なくなりました。戦後の( 3 )による災害としては最多のぎせい者が出ました。

ア 火山の噴火      イ 大雪      ウ 土砂災害      エ 竜巻

(2) 台風や集中豪雨などで大雨がふると、がけ崩れ、地すべり、土砂と水がまざったものがおしよせてくる土石流が起こりやすくなります。これらの土砂災害のおそれがあるときの、避難のしかたとしてふさわしくないものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

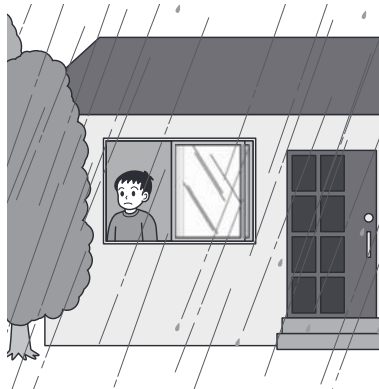
ア 土砂の流れてくる方向に対して直角ににげる。

イ 大雨が予想される時は、早めに避難所へ避難する。

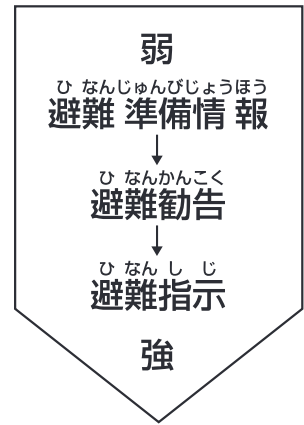


ウ 雨にぬれるので、できるだけ長く自宅にとどまる。

エ 急な大雨や、夜間などで、歩行することが危険な場合、自宅や近くの建物の2階以上に避難する。



(3) 自然災害が起きているときには、避難勧告や避難指示といったよびかけを自治体(市区町村)ごとに出します。右の図は、住民に避難をよびかける力の強さの関係を示したものです。このうち、避難準備情報は2005年からはじまったしくみで、「避難勧告や避難指示が出されてからでは避難が間に合わない可能性のある人たち」を早めに避難させるためにできました。それ



はどのような人たちでしょうか。次のア～エから正しくないものを一つ選び、記号で答えましょう。

ア 高齢だったり身体に障がいがあったりする人たち。

イ お腹に赤ちゃんがいる人たちや、生まれたばかりの小さい子どもたち。

ウ 夜中まで仕事をしていて、なかなか職場をはなれられない人たち。

エ 日本語の防災情報がよくわからない外国の人たち。



問題5 下線部②について、「火を消したり避難をしたりするための設備や器具」とありますが、みなさんの通う小学校や病院、ビルなどにも備えてある次のA～Cは、何のための設備や器具ですか。設備や器具の説明として、ふさわしいものをあとのア～ウからそれぞれ選び、記号で答えましょう。

A



B



C



- ア 大きな音で危険を知らせたり、扉の中には放水するためのホースが格納されている設備。
- イ 階段やエレベーターが使えないときに避難に使う設備。
- ウ 初期の火災を消すための持ち運べる器具。

問題6 下線部③について、火災が起こったときの避難のしかたとしてまちがっているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

- ア できるだけ低い姿勢をとるなどして、煙を直接すわないようにしながら避難する。
- イ 火災が広がるのを遅らせるためにドアを閉めてにげる。
- ウ 窓を開けて外に煙を出す。
- エ 基本的に、下の階へと避難する。

問題7 下線部④について、家などが燃えているのを発見したり、近くで急に具合が悪くなった人が出たりしたとき、あなたが電話で緊急通報をする役割をになう場合もあります。そのときの番号として正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 110      イ 117      ウ 119      エ 177

## 消防署の人の話の続き

自分の命を守ることができたら、まわりの人たちにも目を向けましょう。例えば、⑤ A E D (自動体外式除細動器)という器具を知っていますか？ この学校にもA E Dが設置されていますね。また、駅やデパートなどでも最近よく見かけるようになってきました。みなさんが設置されている場所を知っていれば、近くにいる大人の人に「あそこにありますよ」と伝えることで、多くの命が助かります。⑥ 小学生の一言が、まわりの人たちの命を助けることになるのです。ほかにもどのようなことができそうか考えてみてください。

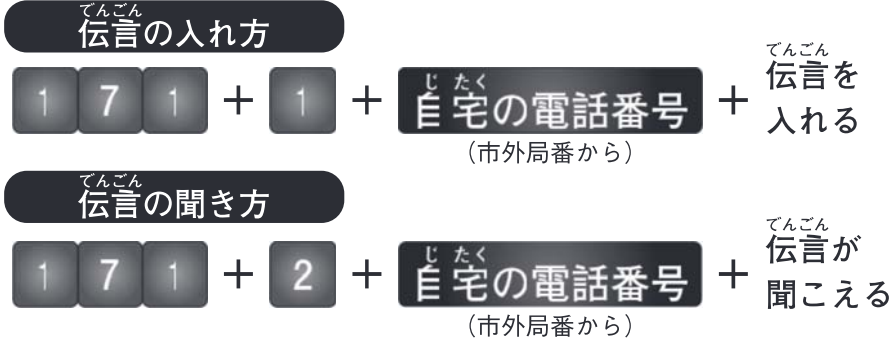


- 問題8 下線部⑤について、A E Dとはどんなときに何のために使うのですか。
- 次のア～ウからふさわしいものを1つ選び、記号で答えましょう。
- ア 意識がとつぜんなくなつたときに、脳に電流でしげきをあたえて、意識をとりもどさせるためのもの。
- イ 大けがでとつぜん大量に出血してしまつたときに、すばやく血液型を判定して輸血をするためのもの。
- ウ 心臓がとつぜん正常に動かなくなつたときに、電気ショックをあたえて心臓を正常なリズムにもどすためのもの。

- 問題9 下線部⑥について、自分が行動したり、人と協力したりすることによって、まわりの人にとっての助けになることがあります。あなたはどのような行動をとったり、人と協力したりすることができるとおもいますか。
- 1「災害が起こる前」、2「災害が起こつた直後」、3「避難所にいるとき」の中から1つの場面を選んで、そこで自分ができそうなことを書いてみましょう。

Ⅲ 家に帰ったまもるくんが、今日の避難訓練について家族と話をしました。そうするとお母さんが、次のようなことを言いました。

学校での避難訓練では、訓練だとわかっているけど、真剣に取り組むことで本当に災害が起こったときに被害を最小限にすることができるわ。家でもいざというときに家族がどのように連絡を取り合うか、日ごろからどんな準備しておくか、確認しておくことで、災害が起こったときに行動がしやすくなるわ。それに、いつか自分の住む地域に大震災をもたらすような地震がきたらどうするかということを、常に考えたり準備したりすることもとても大切よ。



問題10 下線部⑦について、災害時に家族などの安全を確認する手段として、「災害用伝言ダイヤル(171)」というものがあり、30秒以内で、声のメッセージを残せます。大きな地震などが発生すると、多くの人が安全確認をしようとしていっせいに電話をかけるため、普通の電話がつながりにくくなります。まもるくんの家では、災害時は、この災害用伝言ダイヤルに「自分が安全かどうか」などの情報を録音することに決めています。

あなたなら、30秒でどのような内容を話しますか。次の1、2の場合のどちらかを選んで、じっさいに話す内容を書いてみましょう。(なお、30秒で話せる内容は文字にすると大体150字くらいです。)

- 1 自分は家において、家族が誰も家にいないときに災害にあったが、無事である場合。
- 2 友だちと一緒に学校から家に帰る途中で災害にあったが、無事である場合。

問題11 下線部⑧について、まもるくんの家では、大きな地震などの自然災害に備えて、自宅には非常用持ち出し袋を用意してあります。お父さんもお母さんも、もちろん非常用持ち出し袋を用意していますが、まもるくんも自分で持てるものは自分で持つことになっています。

次の表とイラストは、まもるくんが避難するときに自分で背負っていけるように準備したリュックの中身です。

まもるくんのリュックの中身

| 持ち出し品     | 使いみち        |
|-----------|-------------|
| 懐中電灯      | 暗い場所を明るくする。 |
| ウェットティッシュ | 手や体をふく。     |
| お気に入りの本など | 気持ちを落ち着かせる。 |



もしあなたが、まもるくんのリュックに何か追加するとしたら、どのようなものを追加しようと思いますか。あなたが考えた持ち出し品とその使いみちを書いてみましょう。







さいがい いのち  
災害から生命を守る学びテスト

**JBK**  
ジュニア防災検定®



**N-eco**

このマークは、自然緑の環境への  
取り組みを促すためのマークです。

このテストはエコプリンティング(ライスインキ／森林認証紙)で作られています。

問題制作協力：日能研

(本書の記載内容の無断転用・転載を禁ず)



まもるくんの小学校でおこなわれた避難訓練を通して、地震・風水害・火災・火山の噴火などの自然災害が起きたときに、どのように行動すれば、自分の生命を守ることににつながるのかについて考える問題でした。また、災害伝言ダイヤルやAEDなど、日ごろからその使い方を知っておくことで、自分にとってもまわりの人にとっても備えにつながるものについても取り上げました。今回の問題で取り上げられていたことで、「なぜだろう」「どうしてだろう」と思ったことがあれば、さらに調べたり考えたりしてみましょう。

問題1 ゆれを感じたら机の下にもぐって机のあしをつかみます。これは、ウにあるように、落ちてくるものから頭や体を守り、机がたおれたり移動したりしないようにするためです。せっかく机の下にもぐっても、机がたおれてしまったらしかたがないので、あしをつかむのです。くわえて、机の対角線上にあるあしを持てば、よりたおれにくくなり、身を守ることにつながります。

問題2 1～3のどれを選んでもかまいません。1の工事現場の近くは、資材がたおれてきたり、高いところで作業をしている途中であればものが落ちてきたりするかもしれません。なるべく早く、その場からはなれて身を守る場所をさがすことが大切です。2のお店のショーウインドウの近くは、ガラスが割れて落ちてきて、けがをする可能性が高くなります。ですから、このような場所からも早くはなれる必要があります。3のブロックベいやジュースの自動販売機は、とても重くてびくとも動かないように見えますが、大きな地震の力がくわわるとくずれたり、たおれてきたりします。やはり、すぐにそばをはなれることが大切です。

問題3 津波の被害にあうおそれがある場合、もっとも大切なことは、とにかく高いところに避難することです。全員がそろそろまで待っていたり、並んで避難したりするようなどないこともあります。大きな声で、まわりの人にも「高いところに逃げよう」ということをよびかけながら、まずは自分の命を守りましょう。イについて、津波は一度おしよせた後、二度、三度にわたってやってきます。完全に警報がかいじょされるまでは、もどるのは危険です。ウについて、たしかに津波によってはくるまでに時間がかかることもありますが、「まだだいじょうぶ」と思っているいろいろな準備をしていて逃げおくれることもあります。とにかく早く高いところに避難しましょう。

問題4(1) 2014年に起こった日本の自然災害をまとめる問題です。日本では、毎年のようになんらかの自然災害が起きています。みなさんの住んでいる地域でも、いつそのような災害が起きるかわかりません。しかし、どんな災害が起きやすいかを知って準備をしていれば、被害を小さくすることができるのです。この問題をきっかけに、日ごろからテレビのニュースや新聞の情報にも目を向けていきましょう。

(2) 台風や集中豪雨は、強い風や雨だけでなく、こう水や土砂災害を引き起こすこともあります。ですから、これらの災害のおそれがあるときは、イのように、できるだけ早く避難所に避難するのが安全です。ウのように、自宅にとどまっていることで命を落とすこともあるので、雨の中でも家族や近所の人たちと協力して避難することが大切です。エは緊急避難です。急な大雨ですでに浸水していたり、夜間で長いきよりを歩くのが危険だったりする場合などは、緊急避難として自宅の2階以上に上がりましょう。自分の家が2階建てでない場合でも、近くの建物の2階以上に上がります。

(3) 高齢者(お年寄り)や身体に障がいがある人たち、お腹に赤ちゃんがいる人たちは、すばやく歩いて避難するのはむずかしい場合があります。また、生まれたばかりの小さい子どもたちは、自分の力で歩くことができないので、大人がだっこしたり、おんぶしたりすることになります。そうしないと、やはりすばやく避難するのはむずかしくなります。日本語のわからない外国の人たちは、避難勧告や避難指示の内容がわからなかったり、わかったとしても理解するのに時間がかかったりすることも多いでしょう。これらの人たちのために、早めに「避難準備情報」を出すしくみができたのです。

- 問題5 写真のAは消火器、Bは消火栓、Cは避難はしごです。どれも、みなさんの通う小学校の中にあるのではないのでしょうか。小学校の中にあっても見たことがないという人は、先生に場所を聞いてみたり、ろうかを歩いているときなどに、どこにあるのか気を配ってみたりしてもよいですね。
- 問題6 火災が起きたとき、煙や炎、煙にふくまれる身体に悪いガスは、上の方に上がっていきます。ですから、なるべく低い姿勢をとって、煙をすわないようにすることで命を守ることができますし、下の階へと避難することで煙や炎にまきこまれにくくなります。また、煙をすいこまないためには、ぬれたハンカチなどの布で口元をふさぐことも役に立ちます。いっばんに延焼(燃え広がること)を防ぐため、燃えている部屋のドアや窓は閉めたほうがよいので、ウは避難のしかたとしてまちがっているものです。
- 問題7 火災を発見したり、具合が悪くなった人が出たりしたときは、119に通報します。119は消防署につながり、消防車や救急車などの緊急車両を手配してくれます。110は警察につながります。事件や事故があったときに通報します。なお、117は時報、177は天気予報を知らせるダイヤルです。
- 問題8 AEDは、ウの説明にあるように、心臓がとつぜん正常に動かなくなったときに、電気ショックをあたえて正常なリズムにもどすためのものです。119に通報して救急車をよんだものの、とうちゃくを待つ間に亡くなってしまうこともあります。このAEDを使うことで、そのような命が助かることがあるのです。AEDは、はじめての人でも使えるように設計されています。ボタンをおす、あるいはフタを開けるなどすると電源が入り、あとは音声で使い方を指示してくれるのです。
- 問題9 防災について考えるとき、まずは自分の命を守ることで、そして次にまわりの人の助けになることに目を向けることが大切です。ここでは、3つの場面から1つ選んで、「まわりの人にとっての助けになること」を考えました。自分が選んだ場面以外の2つについても、どんなことができるかをぜひ考え続けてみてください。
- 問題10 あなたの家族が、あなたの安全を確認したいと思っているとき、どのような内容が伝言ダイヤルに録音されていたらいいのかを想像してみましょう。「○○です」と名まえが録音されていれば、人まちがいでないことがわかってお父さんやお母さんが安心しますよね。そして、今どのような状態なのか、どこにいるのかなど、会えるために必要な情報は何かを考えてみましょう。書き方は人それぞれで、これでなければならないということはありません。おうちの人と、どんなことを録音するのかを話し合ってみるのもよいでしょう。
- 問題11 みなさんのような小学生でも、自分で持てるものは自分で持って避難することが大切です。ここでは、自分なりにリュックに追加したいものを考えました。災害時の使いみちとしてふさわしいものであれば、追加したいものとして何を答えてもかまいません。1つと言わず、自分で非常持ち出し品をすべて決めるとしたら、どのようなものを入れるのかを考えてみてください。

**JBK**  
ジュニア防災検定®  
第3回

学校(団体)名

名 フリガナ  
前

男・女

|      |  |   |
|------|--|---|
| 問題1  | ウ  | 問題2<br>解答例2 2:ショーウインドウのガラスが割れるとけがのもとになるので、道の反対がわに行く。<br>解答例3 3:ブロックべいがくずれたり自動販売機がたおれたりするので、路地からはなれて広場などに行く。 |
| 問題2  | 選んだ番号<br>解答例1<br>1                                     | 理由<br>解答例1 工事現場は物が落ちてくることがあるので、できるだけ早くそばをはなれる。  |
| 問題3  | ア  | 問題4<br>1 イ 2 ウ 3 ア ウ ウ<br>問題9<br>解答例2 2:避難するための自分の荷物の準備など、自分でできることはすすんです。<br>解答例3 3:自分より小さい子どもがいたら話し相手になる。  |
| 問題5  | A ウ B ア C イ  | 問題6 ウ 問題7 ウ 問題8 ウ   |
| 問題9  | 選んだ番号<br>解答例1<br>1                                     | 自分ができそうなこと<br>解答例1 テレビやインターネットの情報をよく見て、まわりの人に伝える。   |
| 問題10 | 選んだ番号<br>解答例1<br>1                                     | 話す内容<br>解答例1 自分のなまえです。となりの家のおばちゃんと一緒にげようと言ってくれたので、避難所にきています。けがもしていないし、無事です。                                 |
| 問題11 | 持ち出し品<br>解答例<br>チョコレート<br>使いみち<br>解答例<br>お腹が空いたときに食べる。 | 問題10 解答例2 2:自分のなまえです。学校の帰りに地震がきたので、友だちといっしょに学校にもどりました。先生たちといっしょに学校の体育館にいます。                                 |